

第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画(H30年～R2年)で設定した目標値・見込量の実績及び評価

I 令和2年度目標値の令和元年度末時点における実績及び評価

(1) 入所施設の入所者の地域生活への移行

◇5人が地域生活に移行、施設入所者数としては1人の減少を見込んでいます。

項目	数値	考え方
基準とする入所者数	54人	平成28年度末の人数
目標年度入所者数	53人	令和2年度末時点の利用見込み人数
令和2年度末入所者数	53人	
【目標値】 地域生活移行数	5人	施設入所からグループホーム等へ移行する方の数
令和2年度末時点 地域生活移行数	1人	

入所者数は、目標を達成しましたが、地域生活移行数は、1人だったため、4人が未達成となりました。

現在、施設入所している方の約8割が重度の方や高齢の方であることから地域生活移行が進んでいない現状があります。

(2) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

精神病床に長期入院されている方の地域移行及び地域定着について、保健、医療、福祉関係者による協議の場を設置します。

項目	数値	令和2年度末時点
目標年度設置数 令和2年度末時点	1箇所 (圏域)	1箇所 (圏域)

## (3) 地域生活支援拠点等の整備

◇障がいのある方の地域生活を支援する機能の集約等を行う拠点等の整備を目指します。

項目	数 値	令和 2 年度末時点
基準とする拠点数 平成 2 8 年度末	0 箇所	—
目標年度拠点数 令和 2 年度末時点	1 箇所	1 箇所

令和 2 年度に整備しました。

## (4) 福祉施設から一般就労への移行

◇令和 2 年度において、7 人が一般就労に移行し、また、就労移行支援事業の利用者数は 5 人となるよう目指します。

福祉施設の範囲：生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援（A 型・B 型）

項目	数 値	考え方
基準とする一般就労移行者数	3 人	平成 28 年度における移行者数
【目標値】一般就労移行者数	7 人	令和 2 年度における移行者数
令和 2 年度一般就労移行者数	1 3 人	
基準とする就労移行支援利用者数	1 人	平成 28 年度末時点の利用者数
【目標値】就労移行支援利用者数	5 人	令和 2 年度末時点の利用者数
令和 2 年度末就労移行支援利用者数	4 人	
【目標値】就労定着支援開始 1 年後の職場定着率	8 0 %	令和元年度末時点、令和 2 年度末時点において 8 0 % 以上
平成 3 0 年度就労定着支援利用者数	1 人	令和元年度末時点で引き続き利用のため 8 0 % 以上
令和元年度就労定着支援利用者数	2 人	令和 2 年度末時点で引き続き利用は 1 人のため、5 0 %

一般就労移行者数は、目標値を達成しました。

就労移行支援利用者数は、令和 2 年度に就労移行支援利用者が 1 人おられたため、令和 2 年度末の就労移行支援利用者数は 4 人となり、1 人未達成でした。

就労定着支援開始 1 年後の職場定着率は、令和元年度末では、8 0 % 以上でしたが、令和 2 年度末時点では、5 0 % でした。

## (5) 障がい児支援の提供体制の整備等

## ①児童発達支援センターの設置

項目	数 値	備 考
令和2年度末	1箇所	(NPO 法人陽なた)
【目標値】 令和2年度末時点	1箇所	現在の提供体制 の維持・拡充

## ②保育所等訪問支援の充実

項目	数 値	備 考
令和2年度末	1箇所	(NPO 法人陽なた)
【目標値】 令和2年度末時点	1箇所	現在の提供体制 の維持・拡充

## ③主に重症心身障がい児を支援する児童発達支援事業所

項目	数 値	備 考
令和2年度末	0箇所	ただし、重症心身障がい児の受入れをしている事業所は2箇所 (県立総合療育センター、博愛こども発達・在宅支援クリニック)
【目標値】 令和2年度末時点	1箇所	圏域での設置

## ④主に重症心身障がい児を支援する放課後等デイサービス事業所

項目	数 値	備 考
令和2年度末	1箇所	圏域での設置 (多機能型事業所 ぴのきお)
【目標値】 令和2年度末時点	1箇所	圏域での設置

## ⑤医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場

医療的ケア児が適切な支援を受けられるように、保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関等が連携を図るための協議の場を設置します。

項目	数 値	備 考
令和 2 年度末	1 箇所	
【目標値】 平成 3 0 年度末時点	1 箇所	圏域での設置